

これからの「人材マネジメント」の全体像

経営層がリーダーシップを発揮し、経営戦略の柱の一つに「多様性の実現」などの目標を掲げ、女性の活躍をはじめとするダイバーシティを推進する制度と風土をつくることが重要です。人事制度は、多様な人材の活躍を後押しするものとなるよう、自社の状況に応じてアップデートしていきましょう。



1 人事制度基盤(等級制度)

多様な人材が力を発揮できる人事制度基盤

等級制度は人事制度の基盤であり、人材を効果的・効率的に確保・育成し、活躍させ、処遇するための基本的な枠組みです。

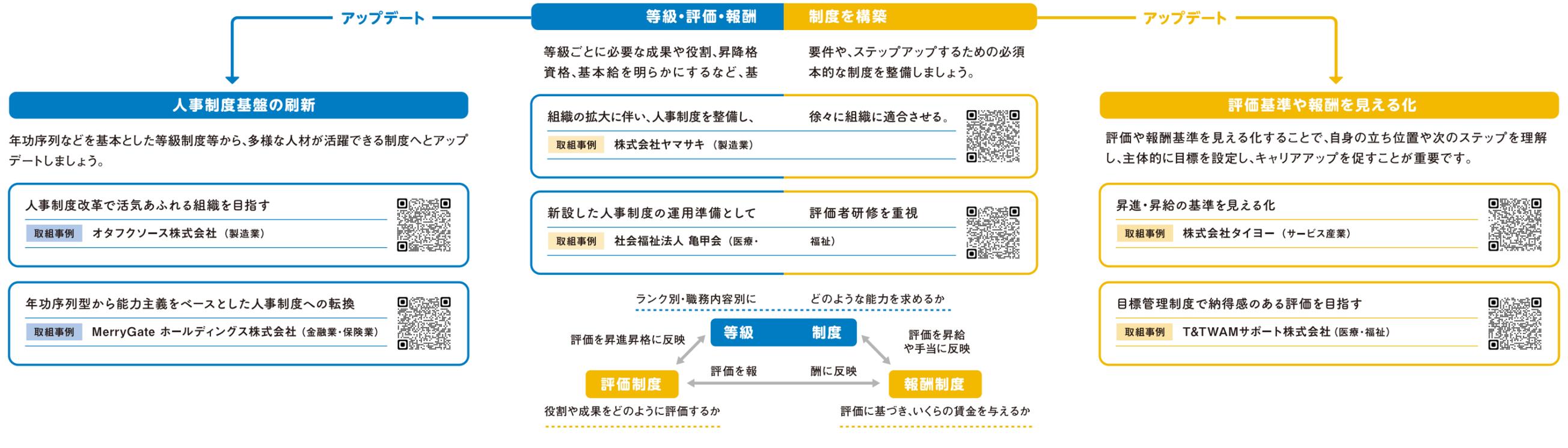
2 評価・報酬制度

能力や成果を重視した公正な評価・処遇制度

等級・職務ごとに果たすべき役割や、求める能力を明確にし、役割や期待に対する達成度や成果に応じた評価・処遇制度を整備します。

まず、人事制度の中心となる3つの柱(等級・評価・報酬)

制度を整備し、運用しながらアップデートしていきます



3 人材育成制度

ライフイベントを考慮しつつ、主体的に描いたキャリアプランを支援し、育成女性もしっかりキャリアアップし、専門職や管理職、経営層として活躍できるように育成する制度を整えます。

4 多様な働き方に対応する制度と風土

就業継続やキャリアアップを支援する制度の整備と、多様性を受け入れる風土醸成。就業継続だけでなく、キャリアアップを目指すことも意識した制度や職場風土を整えます。

個々の能力を生かし、多様な

人材が活躍できる組織へ

女性活躍におけるポイントは中面へ

女性活躍におけるポイントは中面へ